

大江山地区 第 1 回ワークショップの概要

ワークショップと地域別の「実行計画」の関係

1. こんな大江山になったらいいな(まちづくりの方向性について)

阿賀野川や緑豊かな自然を、幅広い世代が交流と遊びと癒しの空間として活用するまち。

- 豊かな自然を残したい。
- 豊かな自然を満喫できる「いやしの空間・街」
- 大江山らしい自然あふれる地域。
- 阿賀野川そのものを利用した遊びの場の供給(提供できる地域)。
- 自然あふれる地域の中で小さな子どもから高齢者まで交流していきたい。

先人から受け継いだ歴史や伝統を、生かしながら楽しむまち。

- 過去の歴史(伝統)を活かした街づくり。伝統を感じられる、そこを楽しんでいけるような、新しいまちづくり。関川村みたいなまちづくり。

多世代交流でき、誰もが生涯現役で生き生きと楽しく安心して住み続けられるまち。

- 元気な子ども、元気な高齢者、いつまでも住み続けられるように。
- 永住できる地域。
- 子どもから高齢者まで生き生きとした大江山になるとよいな。
- 高齢者が生涯現役で活動しやすい環境づくり。
- 子どもから高齢者まで広い世代で交流できる地域。新型コロナウイルス感染症で交流が減っているのもっと増えるといいなと思った。
- 若い人と高齢者の交流する機会が少ない。定期的に交流ができればと。
- 大江山地区は高齢少子化の地域であり、高齢者と子どもがうまく共栄できる地

域であってほしい。

- 子どもから高齢者まで、安心して過ごせる街。(子どもが増えてほしい。)
- 集えるリーダーがいると良い。
- 楽しいと思える地域。
- 子どもから高齢者まで楽しめる施設があれば良い。

人々が笑顔でお互いを思いやり、声をかけあうまち。

- 誰もが寄り添い助け合い笑って暮らしていける地域。
- 人のことを考える様な思いやりのある地域。
- 地域住民が隣近所を思いやる、そんな地域になってほしい。
- 「これならできるよ」と言える人がいる地域。
- 困ったときに「助けて」と言える地域。
- 昔のように気軽にゴミ捨てが頼める関係になればいい。
- 皆が優しいままの大江山で。
- あいさつをかわせる地域。
- あいさつが一番魅力だと思っている。あいさつが活発な良い地域。
- 近所付き合いの復活。

若者や子育て世帯にとって安心して生活しやすく、若者や子どもが増えて活気あるまち。

- 人口(子ども)増加する大江山。
- 子どもが大勢いる大江山地域になって欲しい。
- 子どもの声ができる住みやすい活気のある地域。
- 子どもが自然と集まる場所(まち)にしたい。
- 子どもたちが健やかに育つ大江山。
- 子どもたちが安心して生活できる地域であってほしい。

- 子どもたちが中心に生活できる地域であってほしい。
- 旧村部は空き家も増えて人口の減少が著しい。若い人達が多く移住し活気のある地域になったらうれしい。
- 子ども達が住みたい(帰って来たい)地域。
- 若者が地域の活動に自分から進んで参加できるまち。
- 子どもから高齢者まで、安心して過ごせる街。(子どもが増えてほしい。)(再掲)

豊かな自然と、流通、産業の拠点を併せ持ち、今後の発展が期待できる全国に誇れるまち。

- 自然と共存でき、さらに利便性(利便性も高い。ちょっと動けば駅があちこちにあるとか、空港まで20分くらいで行けるなど)がある地域。
- 公共交通の便がよい地域。
- 利便性がある地域。
- お隣の亀田のように商業施設が建ち並ぶ活気ある街になってほしい。
- サービスが充実していて活気のある地域。
- 亀田駅、インターチェンジに近い。卸売市場、工業団地を中心に発展の期待が大きい。
- 全国にほこれる大江山。

新旧の住民が活発に交流・コミュニケーションのできるまち。

- 三百地では、特別養護老人ホームソフィア輝の周辺の農地(市街化調整区域)が、土地利用の条例緩和で宅地分譲され、20件ほど増え、賑やかでよい。
- 三百地では、住民と新しく来た方達と草取りをしながら仲良くなってうまくやっているのがよい。
- 北山地区、丸山地区はものすごく人が増えている。茗荷谷では家が10件増えた。約半分は子育て世帯で今後の活性化が期待できる。

- 中大淵は当時からいた人(高齢者)が少なくなり、よそから来た新しい人が急に増えている(天神団地の辺り)。自治会の立場としては、人が増えるのはいいが、お互いの考え方が異なり、コミュニケーションがうまく取れていないのが悩み。

2. 大江山地域の公共施設の課題について

◆大江山農村環境改善センター（以下、「農改センター」とする）

- 多様な用途（スポーツや文化などの活動）に対応できる施設を備えており、利用しやすい。幅広い年代の趣味や地域活動を支える地域にとって必要なインフラだと思う。
 - 大ホールはスポーツ、講演会などいろいろな使い方をしているので、この地域では絶対必要である。
- 機能が集約されている。
 - 広いホールや部屋が自由に使えるところ。
 - ダンス、卓球、スポーツ、習字など多様な活動に利用。調理室もある。利用頻度は多い。結構使われている。
 - 大ホールはスポーツ部門や講演会、いろんな使い方をしているので、この地域では絶対必要な部屋だ。
 - 農改センターは、文化とスポーツの祭典の行事があり、利用できることが助かる。楽しみにしている人が多い。
 - 農改センターは大江山地域の人、皆さんが利用している。大変助かっていると思う。
 - 多勢の人が趣味を活かして活動している。
 - 多くの団体が利用している。（大江山以外の団体も利用）
 - 農改センターについては、全ての年齢層の打合せ、会合、イベントで使用しているので地域の必要なインフラと思われる。

- 大江山地域の中心にあり、利便性が良く、人が集まりやすい。多様な年代の利用者がいるので世代交流につながる。大人数が集まれるこの規模の施設は必要だ。

- ・ (地理的に)大江山の中心にある。
- ・ 地域の中央部にあつて(利便性が良い・立地もよい)会議等の活用ができる。
- ・ 会議などで利用しているが利便性がいいので利用しやすい。非常にありがたい。
- ・ 残したい、大人数が集まれるような場所(ホール・会議室)、できれば全体的に残したい。
- ・ この規模の施設は必要。人が集まりやすい。
- ・ 様々な年代の方が使っているので交流につながる。

- 広い駐車場があり、高齢者も利用しやすい。
- 高齢者にとっては、車を使わないと来づらいことがちょっと不便だ。
- 駐車場の白線が分かりづらく、端のスペースは狭い印象があつた。メイン駐車場は施設の裏側になるが、もっと駐車場がほしい。

- ・ 駐車場が広く、高齢者も運転しやすい(ある程度確保されているので利用しやすい)。
- ・ ここの地域は高齢者が多いので車を使わないとほぼ来られないことがちょっと不便だ。
- ・ 転居してきて初めてここに来たが、駐車場の白線が分かりづらい。端のスペースは狭い印象があつた。
- ・ 基本的な駐車場は裏になる。
- ・ 駐車場がもっと欲しい。

- 災害時は避難所運営の拠点として、大ホールは避難所、料理実習室は炊き出しにも利用できると思う。新しい施設をつくるなら、大江山は水害に弱い地域なので、3階建て以上の堅牢な避難所機能を強化することを考えた方がよい。

- ・ 災害拠点になる。コミ協などを中心に避難所を運営する場として必要。
- ・ 残したい！大ホールは(避難所)、料理実習室は(災害時の炊き出し)にも利用したい。
- ・ 新しい施設をつくるなら、避難所を想定し、大江山は水に弱い地域なので、3階建て以上の堅牢な施設が望ましいのではないか。
- ・ 避難所を併用した機能を強化する。

- 雨漏りなど老朽化しつつあるが、地域内唯一の多機能施設であり、手を入れながら機能アップして長く使っていきたい。または建て替えたい。

- ・ 施設の老朽化が気になる。
- ・ 修理してほしい。(雨漏り、ソファの下が破れている)
- ・ 雨もり等老朽化しつつあるが施設に手を入れながら全面的に長く使っていきたい。
- ・ 地域内唯一の施設であり、機能アップして残す必要がある。
- ・ 建替える。(建替えるは希望である。建物も古く、使いづらいことが理由)
- ・ (メンテナンスが大変なので)植樹は人の背より高いものはいらない。

- 地元の利用者が減っているので、PRに力を入れて利用者を増やしたい。
- 公民館や図書室があることを知らない人や、利用方法が分からない人も多い。各部屋が有効に使われているのか利用率も気になる。

- ・ 各部屋の利用状況が少ないことが気になる。
- ・ 全部の部屋の利用率が高いのか、有効に使われているのか疑問に思った。

- 大江山地域の住民向けに PR して、地元利用者を多くしたい。この農改センターを創立以来利用していて、今は卓球と社交ダンスをしている。人口減少の影響もあり大人も子どもも地元の利用が少なくなってきたのを感じている。
- 農改センターは地域のために開設されたが、新潟市に合併後、地域外(亀田地区)からの利用がほとんどで、地元民への広報の効果が感じられない。
- 農改センター内に公民館や図書室があることを知られていない。

《アイデア》

- 利用方法が分からない、何ができるかわからない人が多いので、全館の利用方法をまとめて、もう一度広報(周知徹底)する。
- 公民館があることもわからない人もおり、施設の機能や内容がわかるようする。
- 利用方法の周知を工夫する。

- 他地区の施設が有料化されていることから、農改センターも低額の有料化はやむを得ないと感じている。利用者のうち地域内の人は無料、地域外の人是有料にするなど地域内利用者を優先することで、利用が集中しなくなるのではないか。

- 利用者の有料化を心配している。ほかの施設が有料化になっているので、ここの有料化は避けて通れないだろうと思っている。
- 亀田や横越にある他施設では、面積によって使用料を変えている。現在の利用無料は助かるが、一人100円くらいの負担はやむを得ないと感じている。

《アイデア》

- 使用料は“適切に”徴収してはどうか。地元の人向けは無料、外部は有料にしたい。そうすれば利用が集中することはなくなるのではないか。
- 地元の人のための農改センターなので地元の人を優先してもいいが、ここが無料だからたくさん人が集まっているのであれば、他のところよりも軽めにお金をとっても良いと思う。
- 市内各地のからの利用者もおり料金を検討する。

- 外部者の有料化をしたい。
- 既存の利用団体が優先され、若い人が借りられないという声もあることから、全ての利用者が、よりスムーズで公平に利用申請や予約ができるルールを検討する必要があるのではないか。また、申請書を農改センターに来て書く手間を省き、インターネットから申請や予約状況が確認できるようにしたり、新潟市の公民館の予約基準に合わせたりするのもよいだろう。
- 利用するための申請書がどうしても農改センターに来て書かなければならないというのが面倒だと思う。
 - 施設利用は年間で利用日を申請する。昔から利用している団体が優先され、それ以外の団体は抽選するシステムだが、最近、昔からの人たちも抽選に参加してほしいという苦情と要望があることが気になっている。
 - 多目的ホールは、若い人たちが使いたくても、昔から利用しているダンスなどの団体が年間申請しているため、借りることができない。「公平に貸し出してほしい」と言われている。
 - 無料だからここに利用者が集まっている。いろんな地域から入り込んできている。使い勝手が良すぎてものすごい地域外の人が入り込んできている。これは指定管理者との話し合いになってきてしまう。
 - 運営体制を見直してはどうか。
 - 利用申請手続きを簡単にしたい。
 - ここは公民館ではないが、新潟市公民館の予約の基準に沿って運営していくのが一番簡単で分かりやすいのではないか。
 - 施設の箱物のなかに、公民館事業など複数あるが、公民館や各室の利用者の申し込みなど、わかりやすくしたほうがよい。
 - (申込申請の)Web化、優先順位化をしたい。

- 利用団体の代表者会議を年に数回行ってはどうか。施設の利用方法を知らない新規利用者と情報交換できる場があると、利用の困りごとを解決できてよい。
- 過去には利用団体の代表者会議を行ってきたが、今は全く行われていない。新規の施設利用者はどういう施設か全くわからない状態にある。利用団体の代表者会議を1年に1～2回、4月に始まる時に話し合いの場があれば、どう利用するかもある程度解決する。

- 足の不自由な方や高齢者など、階段の昇降が困難な人が安全に安心して2階へ行けるように、エレベーターや車いす用昇降機を設置してほしい。
- 建て替えるのであれば平屋がよい。また、段差や部屋・トイレなどの広さなど、バリアフリー化等の安全な方法を検討するとよい。
- 足の不自由な方や、お年寄りが2階に行く時に難儀をしている。エレベーターを付けてほしい。(新たに建替えるのであれば)平屋がよい。
- 車いす用昇降機を設置する。
- スリッパで高齢者がつまずくなど安全性が低い。

- 農改センターの機能を検討し直し、スポーツをした後に汗を流すことや、災害時の避難所としての利用も想定し、シャワーや風呂があったらいいと思う。
- 健康のために歩くスペースを作ってほしい。
- シャワー、風呂がない。スポーツをした後に汗を流すだけでなく、災害時の施設利用も想定すると、シャワーや風呂があったらいいと思う。
- (健康のために)歩くスペースを作ってほしい。
- トイレが狭くて少ない。
- 農改センター内の部屋の作り(大きさ)がアンバランス。

- 農改センターの機能を検討する。

- 「農村環境改善センター」という施設名が、農村の人しか使えないのかと
 ってしまうので変えた方がよい。ホール、研修室、風呂などを集約し、多世
 代が活動できて交流できる、魅力的な地域の核となる複合施設が必要だと思
 う。また、そのために交通の便の確保が必要。

- 農村環境改善センターという施設名が良くない。イメージが良くない。すごく気
 になる。農村の人しか使えないのかとってしまう。
- 施設名は変えたい。公募で募集したい。愛称が欲しい。→ 旧農林省の補助金を
 利用して作った関係で名称変更は一定期間変更できない可能性があるらしい。
 だからせめて愛称があればいいのでは。
- 農村という名前が適していない。(建設当時の目的である)農村環境改善センタ
 ーという名前は(時代に即してない。現在の利用に合わせて)総合施設として新し
 い施設をつくる。(地域全体の)展望が大切である。
- 今の農改センターは施設名が適切でない。地域づくりという雰囲気がわかる名
 前にする。
- 多世代が活動でき、交流できる複合施設にする。魅力的な地域の核となる施設
 が必要。
- 活動の内容にあったホール、研修室など、集約した運営施設に。

- 民間主導の管理運営を検討し、経費の削減をしながらサービス向上を目指し
 てはどうか。

- 民間主導にする。経費削減、サービス向上、風呂の機能も盛り込む。

- 祭り文化、生きがい、健康づくり活動などをサポートする公民館の機能を備えるとよい。若い人が気軽に使える場所や、高齢者向けの健康相談などできる出張診療所の開設、若い人が興味を持てるダンス教室の開催、演歌歌手のチャリティーコンサートなど、収益化も図り、活気ある施設にしたい。

- ・ 公民館というものが無いに等しい状態なので、できたらもう少ししっかりした公民館機能が欲しい。必要だと思う。集会場は、昔はあったが今はない。
- ・ 最近新型コロナウイルス感染症が流行ってやっていないが、以前はここでお祭りなどをやっていた。それを再開したら活性化するのではないかと思う。
- ・ 江南区社協では、ひきこもりや不登校などで生きづらさを抱えている方のための「ほのぼの江南」という自由に過ごせる居場所が立ち上がり、若い人の居場所ができた。ここでも若い人が仲間を募って若い人のために「居場所」を立ち上げてほしい。
- ・ 利用者に高齢者が多いので、簡易的な出張診療所(例えば健康相談)を開設したい。
- ・ 演歌歌手等を招いてチャリティーコンサート(収益化のシステムを作って)活気ある施設にしたい。
- ・ 自分が習っている先生が出張して、若い人が通える、興味を持てる内容のダンス教室を開催してほしい。

- 子どもたちや幼児が気軽に集まれる居場所を設けるなど、子育て支援の場がほしい。

- ・ 子育て支援の場が欲しい。
- ・ 子どもたちが気らくに集れる居場所があると良い。
- ・ 幼児が集まる場所がほしい。
- ・ 他の自治体を参考に、子育て支援を手厚くするなど、制度面からサポートをしてほしい。

◆大江山地区図書室

● 地区の中心にあり利便性がよいので利用者はいるが、ここに図書室があることが分からない人も多く、特定の人しか使っていないと感じる。

- 図書室があり、本が無料で借りられることが良い。
- 図書室利用者が結構いる。
- 雑誌の利用者が非常にあったこと。
- 地区の中心地にあることで利用者の利便性がよい。
- 図書室は特定の人しか使っていない。ここに図書室があることが分からない人が多い。
- 必要な本の入手方法がよくわからない。

● 地域の書類（資料）を保管する役目も担っている。

- 地域の書類(資料)を保管している。

● 蔵書が少なく新刊がないので、利用者が少ない。蔵書を増やして充実させて図書室を残してほしい。

- 蔵書数が少なく、本が古くて利用しづらい。
- 図書室の機能が古く、利用者が少ない。
- 雑誌の予約がしにくい・新刊がない。
- この図書室は亀田図書館が運営しているので、蔵書等はみんなが要望すればよいと思う。
- 新刊や本の購入を積極的にしてほしい。
- 図書室を残してほしい。図書数も多くしてほしい。
- 図書室をもっと充実してほしい。

- 予約した本が届くのが遅くて利用しづらい。
- 亀田図書館のように、探している本が見つかるまで丁寧に対応して、貸し出しもスムーズにしてほしい。

- ・ 予約した本が届くのが遅く、ストップした雑誌がある。
- ・ 本を頼んでも(予約しても)来るのが遅い。新しい本が早く借りられるようにしたい。
- ・ 大江山の図書室と比べ、亀田図書館の相談・問い合わせサービスがよかった。探している本が見つかるまで丁寧に対応してくれ、貸出もスムーズだった。
- ・ 図書室の蔵書はシルバー人材センターが管理している。

- インターネットで予約した図書を受け取り、返却する機能に特化して残してはどうか。市内の図書館と連携した貸し出しができればよい。
- 農改センターの中では場所が分かりにくいので、もっと分かりやすい別の場所にする方がよい。

- ・ 図書室を残すのが無理であれば、ネット予約に特化(受取・返却)して残してほしい。
- ・ 市内全図書館の本を取り寄せできる。
- ・ (市の)他の図書館機能との情報連携を行う。亀田図書館から数冊本を借りてくるとか、web 化し、ここに来るとよその図書館の本も借りられるなどできたらよい。
- ・ 農改センターの中にあるが、場所が分かりにくい。例えば本の取り寄せはこの地域に合った、もっと分かりやすい場所にするのも良い。

- 高齢になって運転できなくなったときに、公共交通の便の良い身近な場所で、ネット予約した図書を受け取り、返却できるとよい。

- ・ 今は車があるので図書室まで楽々行けるが、高齢になって運転できなくなったときにネット予約の図書の受け取りと返却だけ身近なところでできると助かる。

- 循環バスがないため、交通の便が悪い。

● 子どもたちが勉強できる自習室や、若い人が気軽に使える場所として活用してもよいのではないか。図書室は夏休みや冬場の居場所として、地区の中にないと困る。流行りの書籍を入れ、広報して利用が増えれば、若い人も足を運ぶかもしれない。

- 長居できるような自習室がほしい。
- 図書室に子どもたちが勉強できるような簡単に借りられるスペースがあったらいい。高校生が「部屋を貸してください」ということがある。公民館ロビーでもどこでも、子どもたちが一緒に勉強するスペースがあれば、もう少し利用が増えてくるのかなと思う。
- 図書室は近場(地区の中)にないと困る(夏休みや冬場の居場所として)。
- 図書室は蔵書を点検して、新しい、今流行りの書籍を入れ、ポスターなどで広報をし、たくさんの人に知ってもらえば、若い人が行ってみようかなと思うようになり、人が増えれば、勉強スペースなども流行るのではないか。たまり場もできるかもしれない。

● 図書室の利用が増えれば廃止されることもないだろう。小学校の個人タブレットで図書室の貸し出し利用をできるようにするなど利用率の向上と活性化を図るとよい。

- 小学校の個人タブレットと図書館のリンクがあれば活性化すると思う。
- 図書室の利用を増やしたい。

◆老人憩の家大淵荘

- 高齢者が歩いて行ける交流の場であり、人との会話やお風呂を楽しむことが生きがいになっているので残してほしい。
- 包括支援センターが来るときにお世話になっている。
- カラオケができるところは大事なので、カラオケ機能は残してほしい。

- ・ 高齢者が交流できる。
- ・ 歩いて行ける交流の場。
- ・ 大淵荘は家から近くて、お風呂にも入れる。
- ・ 高齢者世代が孤独感を解消できる。
- ・ 高齢者のふれあいの場所なのでぜひ残してほしい。
- ・ 近所のおばあさんのご家族から、おばあさんが大淵荘に通って、おやつを食べておしゃべりをしたり、カラオケをしたり、毎日楽しみだったと聞いたことがある。
- ・ カラオケが中止中であっても、残してほしい。カラオケができるところとしても大事。
- ・ 自宅での会話のない人(高齢者)は、人と会話できる場所がうれしい。
- ・ 高齢者の憩いの場であり、通って仲間と過ごす時間が生きがいになっている。
- ・ 包括支援センターが来る時にだいぶお世話になっている。

- 自動車で来る利用者の交通マナーが問題になったことがあったようだ。

- ・ 利用者の自動車の交通マナーが悪いことから、地域住民との間でトラブルがあったようだ。

◆老人憩の家大江山荘

- コロナ禍でも風呂の利用者数は維持しているようだ。高齢者が行きやすく、活用しやすいので何とか残してほしい。

- ・ コロナ禍の中にあっても風呂の利用者減は少ない。(がんばっている?)

- 何とか残してほしい。
- 自宅の近くにあるので利用しやすくてよい。
- 大江山荘は高齢者が行きやすい、活用しやすい。

◆老人憩の家共通

● 高齢者の憩いの場になっているので、地域の中にあってほしい。憩いの家が無くなったらこれまでの利用者はどこへ行くのか気がかりだ。会話ができる場所であると考えたと存在意義はある。

- 高齢者たちの憩いの場になっている。
- とても良い居場所になっている。
- 憩の家が無くなったらこれまでの利用者はどこへ行くのか。憩の家が会話できる場所であると考えたと、存在意義はある。

● 風呂が利用できるところが高齢者にとってはありがたい。施設を残し、ふれあいの場とするとよい。

● 風呂の大きさやボイラーを小型にして経費削減を検討してはどうか。

- 風呂が利用できるところが高齢者にとってはありがたい。
- 入浴と施設そのものは残すこと。ふれあいの場とする。
- ボイラーを小型の費用かからないもので機器の入替を検討する。
- 風呂の大きさも小さい風呂にすることを検討する。

● 風呂の機能は農改センターの改修に合わせて入れ込むのはどうか。集い、図書館、風呂の機能を合わせた複合施設としてもよい。その場合交通の便の確保が重要だ。

- 農改センター新設時に入浴施設を入れ込む。
- 農改センターの改築に合わせ、お風呂、図書館、集会施設を合わせて設置する。

その前提として、交通の便の確保が重要。

● 風呂は廃止して、人々が集う憩いの場として使うのはどうか。

- 風呂は廃止して憩いの場として使いたい。

● 利用者が限られ、常連の輪に入りにくい。一人で来た人も仲間に入りやすい運営体制を検討する必要がある。

● 利用者は特定の人だけが利用し、固定化している。利用者同士のトラブルがあったという声も聞かれる。

- 特定の人だけが利用していると思われる。
- 新規利用者は入りやすいが、従来利用者の輪には入りにくい。
- 限られた人しか利用者しない。近くの人には便利でよいが。
- なんとなく入りづらい。
- 利用者が固定化していて入りづらい。
- 利用者同士のトラブルあり。意見の強い方が一部いる。
- 運営の仕方を検討する必要がある。
- 初心者講習しますなどの広報をして、一人でも仲間に入れるようにしてほしい。

● コロナ禍で飲食や利用時間が制限されている影響もあり、利用者が減っているが、老人クラブが利用者を増やそうと頑張っている。

● この先、地域の高齢者は増加傾向で、身体機能の低下を防ぐダンスなどのサークル活動ができる場所なので、施設の老朽化は気になるが、補修しながら残す努力をしてほしい。

- 高齢者が増えるので残すべきだ。
- 利用者が減っている。
- コロナの影響で飲食や利用時間に制限がかけられている。

- 老人クラブも利用者を増やそうとがんばってきた。
- 利用者が減っているが結構健闘しているので残してほしい。
- 老朽化。
- 老人憩の家は、老人の機能低下(ダンスなどのサークル活動)を防ぐためにも補修しながら残す努力をしてほしい。

- 利用者や利用サークルが減っており、現状では費用対効果が低い。維持するには新たな利用者の確保が必要である。広報などで入浴機能のほかにサークル活動もできる場であることなど、周知するとよいのではないか。

- 利用者の減少。
- 昔から比べると利用者がどんどん減っている。最近は少し戻っている。
- 新たな利用者の確保が課題。現状では費用対効果が低い。
- 利用者の中心であるサークル活動が減っている。
- 風呂以外の知識がなかった(風呂以外に、サークル活動がされていることを知らなかった)。広報があれば(広報で周知すると)良いのではないか。

- 名称を変更するなど、利用できる年齢層を広げ、新しい企画で利用者を増やす工夫をしてはどうか。温泉やサウナを整備する、風呂は無料にする、孫と一緒に入れる、餅つきなどのイベントをする、作品を飾ってアトリエのようになるなどイメージアップに力を入れる。
- 自販機の設置や小規模の産直販売などの収益事業を行ったりする。
- 空きスペースに子育て支援拠点の機能を追加し、世代交流も図るようになるとよい。

- 60歳以上の利用に限定されている。いろんな世代が利用できればもっと利用者が増えるのでは？交流の場になるとよい。
- 名称を変更すればよい。(年齢制限を撤廃する)

- まだ「老人」と呼ばないでほしい。「市民」です…(名称を変えた方がよい)
- 新規利用者の募集をしてほしい。
- イメージをよくする工夫。温泉やサウナ、ウォーキングコース、孫と一緒に入れるなど。
- スポーツ施設と併せて総合的に整備する。
- 作品を飾ってアトリエみたいにする。
- イベントをしたり、無料 day を作ったり、集客の工夫をする。
- 自販機や小規模の地元野菜などの販売所を作ってみる。
- 利用者を増やす→風呂は無料にする。
- 空きスペースに子育て支援の機能を追加して、世代交流も図れるようにする。

● **公共交通の便が悪く、駐車場もほとんどないので徒歩圏外の高齢者は通うのが大変だ。地域のことを知る人は周辺の敷地に止めるなどしているようだ。**

- 自分が住んでいるところからは交通の便が悪い。
- 駐車場が少ない。
- 駐車場がない。徒歩圏外の高齢者は通うのが大変。
- 駐車場はないが、地域のことを知る人は、周辺の敷地にどこにでも車を止めている。今の利用者は駐車場がなくても地域の人是不便を感じていない。
- スペースが狭い。
- 交通アクセスに困っている。(大淵)

● **災害時の避難所としての利活用を検討してはどうか。とりあえず駆け込める拠点になる。2階建てにして、2階を避難所スペースにできるのではないか。**

- 災害時の避難所(とりあえずの拠点になれる、近い人が駆け込めるところにしてしまう)としても有効だ。
- 2階建てにして、2階を避難所のスペースにするというのも可能ではないか。

- 避難所的な意味で、利用性が非常に高いのではないか。

● 再編計画で廃止になりそうで気になっている。やむなく廃止するのであればほかの公共施設に新設してはどうか。

- 市の計画により、なくなろうとしていること。
- やむなく廃止するのであれば市役所の出張所・連絡所などに新設する。

● 憩の家の建物はまだ使えるので、自治会館等の機能を入れるのはどうか。

- 憩の家は(まだ使える施設であり)他の機能(自治会館など)とあわせて検討する。

● 廃止するメリットとデメリットを比較したデータをもとに検討したいので、利用者数や、利用者数が減った理由、利用者の声など、利用状況を詳しく知りたい。

- 丸山北山地区と大淵地区で利用者の住み分けされているのでは？利用の状況などがわからないので現状の検討をして判断することが必要。
- 使用している方の年代、人数、頻度を確認してほしい。
- 利用状況の確認が必要。①人数②利用者がどの地域から来ているか。
- 廃止するメリットとデメリットを比較できる、データが必要。
- 利用者が増えるのか？具体的な利用状況から検討するべきだ。
- 大江山荘は、なぜ利用者が少なくなったか。理由はどこにあるか？

◆丸山小学校

● 学校の中で地域の茶の間をしていた。新型コロナウイルス感染症が落ち着いたら再開してほしい。

- 学校の中で地域の茶の間をしていた。また、新型コロナウイルス感染症が落ち着いたら再開してほしい。

◆丸山・大淵小学校共通

- 小学校の児童数が増え続けている。将来、空き教室がない可能性もあるので、地域の利用は慎重に検討する必要がある。
- ・ 小学校、特に丸山小の子どもが増えている。
- ・ 小学校の空き教室は計画的に地域も利用できればよいが、児童は増えるので空き教室がない可能性があり、難しいのでは？

◆ひまわりクラブ共通

- 働く親にとって必要な施設だと思う。子どもが増えていることから今後も利用が増えると考えられるので、安心安全に利用できるように、小学校の敷地内にあることが大切だ。
- ・ 学校の先生が連れて行ってくれるので安心。
- ・ 各小学校の近くにあり、共働き家庭が増えると考えられるので必要。(今のまま増員)
- ・ 各ひまわりクラブは共働き世帯にとって必要だと思う。
- ・ 働いている親の助けになっていると思う。
- ・ 大淵ひまわりクラブは利用人数が多い。絶対に必要。
- ・ 子どもが増える一方なので残すのが必須。
- ・ 残さなくてはいけない施設である。
- ・ 利用率も高い
- ・ 子どもが増えていることは良い。
- ・ 残す・残さないのテーブルに乗せなくていい施設

- 丸山、大淵の各ひまわりクラブは利用者が多く、1人当りの面積が狭いので、広くしてほしい。小学校の敷地活用や、民有地の借り上げも検討してはどうか。新しくする場合は利用児童数を考慮した広さにするとよい。

- 子どもたちは増える一方なのでもっと大きな施設にしてほしい。
- すし詰め状態になっている。
- 大淵ひまわりクラブは利用者が多い。密集している。1人当たりの面積が狭く、大きくしてもらいたい。
- 丸山、大淵とも施設が狭い。大きくしてほしい。
- 利用児童が多く、子ども1人あたりのスペースが狭いので広くしてほしい。小学校の施設の活用や、民有地の借り上げも検討してはどうか。
- 新しくする場合は利用者数を考慮した広さにすることを考慮するとよい。
- (放課後の)小学校の施設を利用できるようにする。

● ひまわりクラブの面積が狭いことは市内各地で聞かれるため、市全体で検討する場を設けるほうがいい。

- ひまわりクラブの場所の不足は市内各地で聞かれるため、市全体で検討する場を設けるほうがいい。

3. 検討の進め方について

● 公共施設の再編案を検討するにあたり、各施設の利用状況や利用者の声など、詳しい情報が知りたい。

● 利用したことがない、利用状況が分からないので意見が言いづらい。

- 利用者数や利用状況が分からないと検討できない。検討するには確認が必要。
- なじみのない施設については、何を話していいか分からない。
- どんな部屋があり、何ができるのか、利用方法が分からない。
- 使用度が不確定なものは、(利用する)年齢層の人に、使用調査(利用者数、利用者がどこから来たか、利用者の声など)が必要と思われる。
- コロナ禍の、今の使われ方が分からないが必要。

● 市はもう少し計画的に施設整備を行うべきで、今検討するのは遅すぎるのではないか。

- 人口減少は 10,20,30 年前から分かっていたこと。民間と、市の考えの温度差があり、市の考えは甘いと感じている。市はもっと早く施設整備を計画的に行うべきで、今検討するのは遅すぎるのではないか。

● 資料は専門用語でなく分かりやすい言葉にして、文字を大きくしてほしい。

- 資料内のことばが専門家すぎるのでわかりやすい言葉にしてほしい。
- 文字を大きく。